

太子高校の挑戦 その10

「楽しさ」を「力」に!

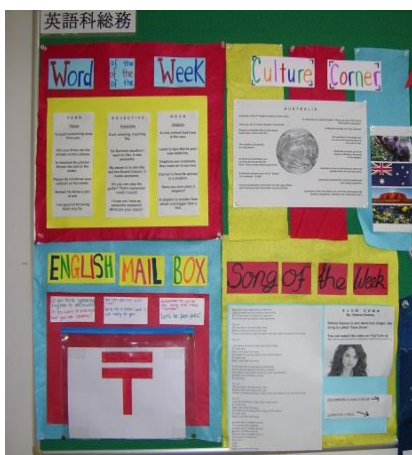
本年度は、太子高校の「挑戦の年」と位置づけて「学力向上」「授業改善」に取り組んでいます。この通信で本校の取組みについてお話することで、太子高校の挑戦について知っていただければと考えています。

本校の生徒達は「学校が楽しい! 太子高校大好き!」と、瞳をキラキラ輝かせながら口を揃えます。さらに、教師からもその言葉が出ます。「太子高校で働くのが楽しい! 生徒といるのが楽しい!」。校長としては嬉しい限りです。「感謝」の一言しかありません。何故そんなに「楽しい」のか、太子高校のどんなことから「楽しさ」が感じられるのか考えてみました。

最も大きな理由は「**自分の変化を実感できる**」ということだと思います。自分で選択した授業や総合学科ならではの授業の中から、あるいは部活動やボランティア活動の中から、「勉強」する意義を見いだせた生徒は、学習に対する姿勢が積極的になります。まだ、全生徒が全教科でそうなっているわけではありません。しかし、勉強とは何なのかが分かった生徒は、目の輝きがはっきりと違います。オールマイティに教科の成績がそろっていることも大事ですが、好きな分野にとことん打ち込んでみるというのは、総合学科でなら十分に体験できます。そうすると、自分の授業に取り組む姿勢や成績が良い方に変化していきます。今まで自分の中に眠っていた「可能性に気づく」といっても良いでしょう。意欲的な生徒が教室に 20%いれば、その教室は活発に動き出します。すると、教師のやる気にも火がつかます。授業の工夫にも張り合いが出ます。この好循環が太子高校で起こっているので、「学校が楽しい」と言えるのだと確信します。

また、アクティブ・ラーニングなど新しい挑戦での授業の質の変化を、生徒と教師の両方が実感できてきたことも、「楽しさ」の一因でしょう。楽しく学びながら「生きる力」を身に付けられる! 最強の学校ですね。

ONE SHOT



8月から、新しいALTの先生をお迎えしています。

オーストラリアのパースから来られたローレン先生です。これは、ローレン先生作のALT掲示板です。

写真を撮ったのは、体育大会前でしたから、テーマは「スポーツ・デイ」です。ローレン先生は、オーストラリアと日本の体育大会では、全く様子が違うことに、驚かれていました。オーストラリアの「スポーツ・デイ」は、全員が大きく4つのグループに分かれて、スポーツを楽しむのだということです。この掲示板の目玉は、「イングリッシュ・メール・ボックス」です。「生徒からどんな手紙が届くのか、ワクワクします。」とおっしゃっていました。みなさん、どんどん書いて届けてくださいね。

学校のカ・イ・ダ・ン

秋になって、教室に蜂が飛び込む回数が増えました。先日も蜂が授業を受けに(!)やってきたので、校務員さんと事務職員さんとが捕獲網を持って駆けつけてくださいました。「スプレーは強力なので、敏感な生徒が気分が悪くなってはいけなから」と。

学校は、たくさんの「思いやり」に支えられています。ありがとうございます。